



第8回こども貧困対策会議 資料

2019年度高浜市学習等支援事業 「ステップ」「ステップ・ジュニア」 事業報告



ASK NET

NPO法人 アスクネット

名古屋市熱田区沢下町8-5

TEL 052-881-4349 FAX 052-881-5567

E-mail info@asknet.org

<http://www.asknet.org>



【ステップ】

2019年度の実施報告（1月末現在）

1. 利用決定生徒

学年	利用決定人数					合計 (男・女)
	生活保護 受給世帯	就学援助 受給世帯	母子又は 父子家庭	その他		
				人数	概要	
中学1年生		3名	4名	1名	特別支援	6名 (2・4)
中学2年生		1名	2名	2名	特別支援 不登校	4名 (2・2)
中学3年生		4名	5名			5名 (3・2)
高校1年生			5名	2名	元就学援助	7名 (3・4)
高校2年生			3名	3名	元特別支援 元不登校 不明	7名 (4・3)
高校3年生			1名	2名	元特別支援 学習遅滞	3名 (1・2)
その他			1名	1名	元特別支援	1名
合 計	0名	8名	21名	11名		33名

※合計は利用決定者数（世帯状況は重複する項目あり）

【ステップ】

今年度の実施状況（1月末まで）

2. 実施回数と参加状況

- ・実施回数：51回（台風による休校1回を含む）
- ・参加生徒：のべ738名（1回平均約14.5名）
- ・チャレンジサポーター参加数：実人数 44名・延べ人数 380名（1回平均約7.5名）

3. 実施講座

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 4月：【生徒活動】 オリエンテーション | 8月：【地域活動】 避難訓練 |
| 【食育】 玉ねぎ収穫体験 | 【生徒活動】 ステップ昼食づくり |
| 5月：【地域活動】 ステップ農園看板作成 | 9月：【食育】 さつまいも観察会② |
| 6月：【食育】 さつまいもの植え付け体験 | 【地域活動】 ボランティア講座 |
| 【生徒活動】 クラス会議inステップ | 【地域活動】 防災講座 |
| 7月：【学習講座】 ちょっと残念な偉人の話 | 10月：【学習講座】 英語講座 |
| 【学習講座】 文章の書き方講座 | 【地域活動】 おにみちまつりボランティア |
| 8月：【進路講話】 働くを知る講座 | 【食育】 さつまいも収穫 |
| 【食育】 さつまいも観察会① | 【生徒活動】 小中高合同ハロウィンイベント |
| 【生徒活動】 道徳講座 | 11月：【食育】 さつまいも収穫 |
| 【料理講座】 流しそうめん大会 | 【進路講話】 しっとく！お仕事講座 |
| 【地域活動】 ランプシェードづくり | 12月：【進路講話】 プログラミング講座 |
| 【学習講座】 サポーターの英語講座 | 【生徒活動】 クリスマス感謝祭 |
| | 【生徒活動】 さつまいも調理 |
| | 1月：【地域活動】 書き初め大会 |

【ステップ】

今年度の実施状況（1月末まで）

4. その他の実施事項

（1）ステップ通信発行

- ・目的：主に教員や保護者にステップの活動の様子を知ってもらう
- ・掲載内容：学習の様子、講座の様子、昼食の紹介、サポーターの紹介 等
- ・発行回数：5回（2ヶ月に1回程度のペースで発行）

（2）昼食支援

- ・協力団体：15団体
- ・利用生徒数：のべ507名（1回平均約9.9名）

（3）チャレンジサポーター定例会・研修

- ・目的：チャレンジサポーター同士の情報共有や支援内容についての話し合い
及びサポータースキルの向上
- ・実施回数：3回（6月24日、9月24日、12月1日）

【ステップ】

今年度の実施状況（1月末まで）

（4）ステップ利用者の進路状況

- ・ 中学3年生：5人 ⇒ 1人進学決定
- ・ 高校3年生：3人 ⇒ うち進路確定2人（大学生（通信）1人、就職1人）、未決1人
※4年制高校の3年生2名を除く（4年生は該当なし）

（5）進路状況追跡調査

- ・ 調査方法
 - ステップ参加生徒：ステップでの聞き取り
 - ステップ不参加生徒：年2回の郵送での進路状況調査
※キャリアカウンセリングも同時に案内
- ・ 有効回答（令和2年2月時点）：30人／51人

【ステップ】

今年度の実施状況（1月末まで）

（6）生徒・保護者アンケートの実施（「ステップ・ジュニア」も同様）

- ・実施期間：1月18日（土）～2月22日（土）
- ・対象：今年度1回以上参加した児童・生徒とその保護者
- ・アンケート結果：集計中のため、記述回答を一部抜粋

（質問）「ステップ」に参加して良かったこと、自分の中で変化したこと、感想など

- ・私は将来の夢が決まっていますが、ステップでいろいろな職業の人達の話聞いて、視野を広げることができてよかったです。（高校生生徒）
- ・みんなと話したり、宿題をやるのが楽しい。（小学生児童）

（質問）「ステップ」に参加して良かったと思う理由

- ・学校で質問しづらい事や、分からない所を聞ける。有料の塾も考えていましたが、聞きやすい環境の方が娘的には良いのかと思っています。しぼりがないのもいいんだと思います。（中学生保護者）
- ・色々な人達と交流ができて、色々な体験をさせてもらいました。美味しいご飯を皆で囲む事はとてもいい経験だと思っています。学校に行けない日があっても「ステップ」へ行けたら親の心の負担が軽減したと感じます。（小学生保護者）

【ステップ・ジュニア】

今年度の実施状況（1月末まで）

1. 利用決定児童

学年	利用決定人数			合計 (男・女)
	生活保護 受給世帯	就学援助 受給世帯	母子又は 父子家庭	
4年生	0名	2名	3名	4名 (3・1)
5年生	0名	2名	2名	3名 (1・2)
6年生	0名	3名	3名	4名 (2・2)
合 計	0名	7名	8名	11名

※合計は利用決定者数（世帯状況は重複する項目あり）

2. 実施回数と参加状況

- ・実施回数：89回（台風による休校1回を含む）
- ・参加児童：のべ606名（1回平均約6.8名）
- ・地域支援員（2名・平日のみ）：のべ57回
- ・チャレンジサポーター参加数（主に平日のみ）：実人数 26名・延べ人数 105名

【ステップ・ジュニア】

今年度の実施状況（1月末まで）

3. 実施講座

【まち協さん講座】

協力：南部まちづくり協議会

- 4月 春の味覚を摘む
- 5月 畑づくり I
- 6月 昔の遊び工作 I
- 7月 水辺の観察
- 8月 お盆講座
- 9月 昔の遊び工作 II
- 10月 畑づくり II
- 11月 洲崎公園で焼きいも&葉っぱひろい
- 12月 芋のハンコ

【マイプロジェクト】

- ・夏休みの計画作り
- ・自由研究準備
- ・ステップ・ジュニアの紹介作り
(クリスマス感謝祭準備)

【運動の日】

- ・公園や室内で体を動かす
(仲間遊びや体の使い方を学ぶ)

【学習系講座】

- ・国語：クロスワード、読書感想文、百人一首
- ・算数：お買い物ゲーム、ナンプレ
- ・理科：光の3原色
- ・社会：都道府県クイズ
- ・英語：英語でビンゴ、身の回りの英語
- ・その他：調理（月1回）

【ステップ・ジュニア】

今年度の実施状況（1月末まで）

4. その他の実施事項

（1）ステップ通信発行

- ・目的：主に教員や保護者にステップ・ジュニアの活動の様子を知ってもらう
- ・掲載内容：学習の様子、講座の様子、送迎案内 等
- ・発行回数：9回（1ヶ月に1回程度のペースで発行）

（2）昼食支援

- ・協力団体：15団体
- ・利用生徒数：のべ329名（1回平均約6.6名）

（3）高浜高校ボランティア部内活動

- ・目的：高浜高校ボランティア部との連携を図り、地域連携と担い手の循環を目指す
- ・実施内容：活動に対する振り返り、高校生講座準備 等
- ・実施回数：9回（5月24日、6月18日、7月9日、7月16日、8月20日、9月17日、10月18日、11月19日、12月17日、1月14日）

【ステップ・ジュニア】

今年度の実施状況（1月末まで）

（4）学校との情報共有

- ・目的：学校と学習支援の様子を共有することで、児童の状況に合わせた支援を行う
- ・実施内容：毎月出席状況と様子を児童個別のシートにまとめ、子ども健全育成支援員を通じて学校に共有
学校からの返信欄を作成し、学校からの情報共有への協力を依頼
- ・学校からのフィードバック事例（一部抜粋）
 - 事例① 宿題に取り組むことができるようになった様子を共有
⇒宿題はかなり提出できるようになっています。学校でも落ち着いて過ごすことができています。
 - 事例② 学校の遅刻や欠席が増えてきていると聞いたことを共有
⇒引き続き遅刻、欠席が多めです。来れば問題なく過ごせるのですが、宿題などやるべきことができていないと朝ぐずることが多いようです。
 - 事例③ 集中力が課題になっている様子を共有
⇒学校でも集中が切れてしまい注意を受けることがあります。やる気に波があるけれど、やろうとする姿勢を多く見られるようになってきているので、少しずつの成長だと気長に見ています。

外国にルーツを持つ子ども達の状況と課題

【利用登録している生徒のうち外国にルーツをもつ子どもの数】

ステップ：4名（内訳：中学生3名 高校生1名）

ステップ・ジュニア：3名

【状況・課題】

◎ステップでの事例

生徒の状況：日本に来たばかりで日本語の理解が難しい。

ステップへの期待：日本語能力の取得。学校の授業についていけるようにしたい。

支援方法：生徒の持ってくる日本語教材を使用した学習のサポート。

課題：日本語の学習手法に関する知識や専門性を有していないため支援が困難であった。

（日本語が理解できない生徒に対するスタッフやサポーターも日本語しか話せない。）

◎ステップ・ジュニア

児童の状況：日本で生まれ育ったため日本語でのコミュニケーションは問題ない。

ステップへの期待：基礎学力の定着。（他の児童との差異はない）

支援方法：学校の宿題を中心にした学習のサポート。

課題：現時点では外国にルーツを持つことに起因する支援上の課題は見受けられない。

（他の児童と同様の課題（基礎学力、生活面等）を抱えている。）